

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel3783-8833 このニュースについてのご意見、
日本共産党区議団控え室 Tel5742-6818 ご要望をお寄せください。



リニア新幹線 共産党・れいわ・ネットがJR東海に 工事再開に抗議の申し入れ

JR東海は、昨年10月28日に西品川1丁目の区道の隆起事故を起こし、工事をストップしていましたが、4月17日に突然22日以降の工事再開を発表。区長も発表当日「丁寧な説明と適切な措置を強く求める」と要請。反対する会が21日、共産党区議団がれいわとネットと一緒に22日に申し入れ。しかしJRは工事再開を強行。

区道の隆起事故は「区民の生命と生活を脅かす重大事態」

昨年10月28日にJR東海がリニア新幹線の工事によって起こした区道の隆起事故は、区も述べているように「区民の命と生活を脅かす重大事態」です。だからこそ住民に対して、原因と対策について、丁寧に説明することが求められています。森澤区長も、反対する区民の会も共産党区議団も「原因究明と丁寧な説明」の申し入れを行ってきました。

説明会はわずか1時間で打ち切り

JR東海は、2月1日と2日に教室型説明会を行いました。しかし、たくさんの方々が手を上げているのにわずか1時間で打ち切ったのです。

これだけの重大事故を起こしながらあまりに不誠実なJR東海の対応に、会場は騒然となり



れいわ・柳沢区議とネット・吉田区議と鈴木

ました。

事故原因は調査結果に裏付けられたものではなく全てが「推定」であり、今回の事故は「想定外」というもの。区民からは「これからも同様の事故が起こるのではないか。不安でたまらない」「このまま住み続けられるのか」など不安の声がたくさん出されました。

突然、4月17日に工事再開を発表

JR東海は4月17日、突然にホームページで「22日以降に工事再開」と発表。ルート近隣住民にチラシを巻きました。

即日、森澤区長から「区民の不安や懸念は払拭されたとは言いがたい」「丁寧な説明を強く求める」との申し入れが行われました。21日は反対する区民の会が、22日には共産党区議団がれいわとネットに呼びかけ共同で抗議と説明会を求める申し入れを行いました。ところが…。

JR東海が4月22日

工事再開を強行

リニア新幹線の工事は、いよいよ住宅

(共産・れいわ・ネットの3党の申し入れ文書)

2026年4月22日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 丹波 俊介 様

品川区議会 日本共産党区議団 安藤たい作 石田ひろ子
のだて稔史 鈴木ひろ子
品川生活者ネットワーク 吉田ゆみこ
れいわ新選組 やなぎさわ聡

リニア中央新幹線シールド工事再開に対する抗議の申し入れ

4月17日、JR 東海より突然、4月22日以降の工事再開が公表されました。
2025年10月28日に品川区西品川1丁目で起こった区道の隆起事故は、品川区も述べている通り「区民の生命と生活を脅かす重大」な事故です。今年2月1日・2日にオープンハウス型とともに一斉型説明会が行われましたが、両日とも、多くの住民が手を挙げているところをわずか1時間で強制的に打ち切ったというものでした。到底、住民は納得しておらず、「これからも同様の事故が起こるのではないか」「このまま住み続けられるのか」など深刻な不安と懸念が広がっています。

品川区森澤区長からも今回の工事再開が公表された当日、「区民の不安や懸念は依然として払拭されたとは言えない」として「丁寧な説明」を強く求めるとの申し入れが行われました。工事再開前に、改めて教室型の一斉説明会を開くよう求めます。

さらに、2月に行われた説明そのものが、事故の原因はすべて「推定」であり、JR 東海として「事故は想定外」というものでした。これでは再度事故を起こしても「想定外」で済まされるのではないかと不安・懸念が広がるばかりです。現状のトンネル施工検討委員会シールドトンネル部会など内部による調査・検証のみでなく、中立性・専門性を備えた第三者機関による調査・検証を行い、住民が納得いく説明・情報開示を求めます。

申し入れ事項

1. 地域住民に対する教室型説明会を開催すること。
2. 事故原因の検証について、第三者機関による独立した調査・検証を実施すること。
3. 説明会開催及び第三者による調査・検証の結果を住民と共有し不安や懸念が払拭されるまで、工事を再開しないこと。

これから工事が再開されると、いよいよ住宅地の真下での工事となります。地域住民の安全性を最優先に、透明性のある説明と誠実な対応が求められています。申し入れの趣旨をご理解いただき、速やかかつ真摯な対応を強く求めます。

地の真下を掘り進められることになりません。住民の不安と懸念は払拭されていません。

3党の申し入れでは①地域住民に対して教室型説明会を行うこと。②事故原因について第三者機関による独立した調査・検証を行うこと。③説明会と検証結果によって不安と懸念が払拭されるまで工事再開をしないことを求めました。

JR 東海は工事再開を強行しましたが、これからもみなさんと一緒に求め続けていきます。

無料 法律・生活相談会

5月27日(水)午後5:30~
鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 ☎3783-8833 ☎5742-6818 (控室)

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。

羽田問題議員連盟しながわ主催

羽田新ルート問題学習会

4月10日、羽田議連の主催で、元パイロットで航空評論家の杉江弘氏を講師に学習会を行いました。議連の活動報告も行い、会場からもたくさんの意見が出されました。



杉江氏の話から、改めて従来の海上ルートに戻す以外に品川の上空を飛ばないようにすることはできないということが明らかになりました。

品川区の森澤区長が「前濱野区長の容認の姿勢」を変え、国交省に「市街地上空を飛ばない海上ルート」を求めたことは、住民と議連の議

会論戦によるものだ確信にしよう。そしてさらに、国交省に対して住民と共に「従来の海上ルートを求める」との立場に立つよう求めています。

今年も3月29日・羽田新ルートで飛び始めた日に大井町ヨーカドー前で「私たちは諦めない」超党派宣伝を行いました。共産党区議団とれいわ、生活者ネットと住民運動団体の皆さんと一緒にチラシをまきながら訴えました。

